

せっかち 園長の ひとりごと

2017、3、16 最終号

認定こども園あかみ幼稚園・メイプルキッズ 統括園長 中山昌樹

まず、もり組の子どもたちにお祝いの気持ちを伝えたいです。もり組のみんな、今日は、卒園おめでとう！

私は毎年卒園アルバムに、それぞれの道を歩み始めた子どもたちに向けて、メッセージを載せています。せっかくなのでそのメッセージを、すべての保護者の皆さんに読んでもらいたいので、ここで紹介したいと思います。卒園アルバム完成前の紹介になりますが、“せっかち”な園長なので、ご了承ください。

そつえんした もりぐみの みんなへ

これを見るみんなは もういま、りっぱなしょうがくせいだね。あたらしいせんせい、あたらしいともだち、あたらしいしょうがっこうせいかつ・・・
きっとみんなは、あかみようちえんのことを すこしずつ わすれていくとおもう。それでいいんだよ。

みんなを、これからおおきくそだつ「き」にたとえると、みんなは あかみようちえんで、おおきな「き」になるための「ねっこ」をそだてたんだよ。そして しょうがっこうで、すこしずつ「き」の「みき」や「えだ」をのばしはじめた みんなは、「みき」や「えだ」にしゅうちゅうして、あかみようちえんでそだてた「ねっこ」のことを、いちどわすれてしまうんだよ。それでいいんだよ。

そしていつかみんなが、おとなになり、ほんとうにおおきな「き」になるころには、やりたいことをやりつづけるつよさ（そしてねばりつよさ）、ともだちのこともじぶんのこともたいせつにするきもち（ごういのけいせい）、ともだちとはなしあったりしらべたりして、そのことをだれかにつたえたりするちからに、きときづくとおもう。それが、あかみようちえんでそだてた、「ねっこ」なんだよ。

えんちょうせんせいより



さて、もり組の子どもたちと行った お別れ遠足（かっぱ探し）

もり組の子どもたちには申し訳ないのですが、お別れ遠足で私は、かっぱよりも衝撃的な出来事に会ってしまいました。

次ページの写真がそれです。かっぱ探しで水がきれいな所に行ったので、そこには弁財天（べんざいてん）がいらっしゃいました。

・・・で、ある女の子が私に、「えんちょうせんせい、なんであそこに、ギターをもった おじそうさんがいるの？」と質問してきた

↓ 続く



ギターをもった おじそうさん

のです。「ギターをもった おじそうさん??」・・・わたしは「子どもって、なんて かわいいことを言うのだろう!」と衝撃を受けてしまい、その質問に答えられなくなってしまったのです。

さて、子どもたちにとって肝心な かつばのことですが・・・、その後、すべての秘密がわかる紙芝居が見つかり、6日(月)に私が読むことになったのです。赤淵のこと、偉いお坊さんのこと、姫の神のこと、ビオトープのこと、“生き石”のこと・・・。かつばを探す長い道のりの一つの通過点で、子どもたちはいったい何を感じたのでしょうか? (赤淵周辺の川へ、ゴミ拾いに行くクラスもあるようです。)

小さい組の子どもたちも、年長・もり組になると そのどこかで、何らかの形で、この紙芝居に出会うことになります。・・・たかが かつばと思うかもしれませんが、これは子どもの教育にとって、奥が深い話なのです。

さて、保育者養成教育学会で・・・

先日(5日)、私と中田・園長補佐とで、白百合女子大学で開かれた保育者養成教育学会に出席してきました。というのは、本園のいちょう組を対象にしたフィールド調査(by.小川、岩田)の発表があったからです。この調査では、本園の『遊び保育』をめぐる画期的な発見がありました。ここで、いくつか紹介します。

- ①対象になった いちょう組の子どもたちは、時には担任のひろみTの助けを借りるが、自分たちの力で遊べるようになっている。
- ②それは、「製作コーナー」で何か作って、それをお店屋さんなどで使って遊ぶという、**作る⇄遊ぶ** という遊び方が、子どもたちに身につけているから。
- ③子どもたちが自分の力で遊べると、担任のひろみTは余裕をもって子どもたちや遊びを見れるので、そこで次に必要なこと・ものがわかり、適切なサポートができる。
- ④ひろみTの適切なサポートにより、子どもたちはさらに充実して遊べるようになるという、好循環が生まれている。

このような ひろみTのサポートは、他クラス・他学年でも見られ、子どもたちは0・1・2歳の育ちを土台に、3歳→4歳→5歳と育ちを積み重ねる過程で、育ち方に個性はありますが、みんなが自分の力で遊べるようになっています。

今回のこの調査で明らかになったことから(①~④)は、私たちの中でも経験的にわかっていたことでした。しかし、大学の研究者である小川先生と岩田先生の努力下、実際にどのような保育スキルが重要なかが、はっきり示されたわけです。私は この調査結果が、本園の保育者たちのさらなるレベルアップに、とてもプラスになると感じています。

突然ですが、汐見先生とキューバに行ってきます

なぜ、キューバなのか？ 実は私は、キューバのことを、あまりよく知らないのです。ちょっとだけ知っているのは、有機野菜をたくさん作って、それで国民の健康が増進されている（予防医学の充実）・・・。あとは、古いアメ車が走っているとか、チェ・ゲバラのこと（詳しくは知らない）。

聞くとところによると、キューバでは教育費と医療費が無料だそうです。また一緒に行く汐見先生によると、「隠れ・学力世界」なんだそうです。 ということかということ、大学進学率が120%・・・要するに、一人の人が何回も大学に行く、のだそうです。

今回は、「認定こども園がわかる本」を一緒に作った汐見稔幸先生に、一緒に行こうと誘われたことがキューバに行くきっかけです。最近の汐見先生は、ヨーロッパへも行きますが、ブータンやラオス、バリ島などなど、近代化されていないところ（日本にもかつてあった、昔の生活が残っているところ）に行くことが多いです。



確かにこれからの日本は、国際化や、人工知能（あるいはロボット）と一緒に暮らしという課題に直面しています。しかし私は、文明の進化の波に単純に乗っていただけでなく、ときどき、昔は子どもってどう育てていたのだろうか？とか、時代が変わっても子どもの育ちにとって大切なことは何なのだろうか？というように、一歩歩みを止めて、足元を見直すことが必要だと感じているのです。

この視察では、市内の幼稚園や診療所、有機野菜の農場などを見てきます。また音楽などにも、詳しくはありませんが興味があります。4月以降になりますが、報告会を開くつもりです。時代の最先端でもう一度問い直したい・・・。「子どもの育ちで大切なこと」、「子どもが一緒に暮らした楽しさ」、ちょっと大げさですが「自分にとって、幸せって何なのだろう」。みなさんと一緒に、何か考えられたらいいですね。

次に、学童保育・みちくさで・・・

ここで、今まであまり紹介したことのない小学生（本園内にある学童保育・みちくさ）の取り組みを紹介します。

今まで、みちくさでは、夏休みや春休みなどの「長期休業中」に、バスや電車でちょっと遠いところに出かけたり、プロの職人さんのお世話になってお菓子や料理を作ったりなどしてきました。

今回の春休みには、佐野駅前の「日光軒」のご協力で、ハラール・ラーメン&餃子作りをします。ハラールとは・・・単純に言うとイスラム教徒の人たちがイスラム法で食べることが許されている食材や料理ということになります。



しかし、私はまだ不勉強ですが、ハラールの食べ物は（食べ物だけではありませんが）イスラム教徒の人たちだけに意味があるものではなく、誰が食べてもオーガニックで身体に良い料理なのだそうです。

私の友人の五箇さん（「日光軒」のオーナー）は、ハラールのことを勉強し実践している人で、今回は、単なる料理教室ではなく、ハラールを通して子どもたちに文化や宗教の多様性（そこには違いと同時に、共通なものもある）を感じてほしいと願っています。五箇さんは今回、イスラム教徒であるマレーシアの学生さんを連れてきてくれるそうです。私は子どもたちが、食を通して、また、この学生さんと触れ合うことで、これからの未来を生きる賢さや豊かさ、そしてやさしさや、多様性を受け入れる柔軟性を得るのではないかと確信しています。

佐野市では今、五箇さんが中心となり、地方創生の一環で『ハラールインバウンド』という政策が進められつつあります。私は、これからの子どもたちが多様な文化や生活に触れ、お互いを大切にしよう関係作りができるようになるといい、と考えています。

最後に、来年度の組織の見直し など・・・

これは先日の保護者会・理事会でもお伝えしたことですが、来年度、私は園長を辞し、理事長となります。以前から書類上、理事長になっていましたが、実際の組織の上で、理事長という一つの肩書で仕事をしていくこととなります。ですので、認定こども園あかみ幼稚園の園長には、今まで補佐であった中田幸子が就任します（副園長は今までどおり長島弥生）。一方メイプルキッズでは、今までどおり施設長が新井利枝、副施設長が阿部知美です。当然のことですが、私がこの場からいなくなるわけではありません。むしろ理事長という立場で、今まで以上に保護者の皆さんや職員たちをサポートできたら、と願っています。それはそのことが結果的に、子どもたちへの最大のサポートになると考えるからです。

・・・今まで子どもたちは私を見ると「えんちょうせんせい」と声をかけてくれましたが、これからは「りじちょうせんせい」という感じになるのでしょうか。それもなんか、いいですね。ただ、この「ひとりごと」が今回、私の最後の「ひとりごと」となりました。今度の4月からは、タイトルもちょっと変え、中田と新井が2ページずつ担当することになります。これからもどうぞ、よろしくお願いいたします。